

2019（H31）年3月議会 一般質問 5人

1 石垣 菊蔵議員

- 1 貝がら公園散策路として利用できる拡幅町道や仮設道路を残すことはできないか

2 榎戸 陵友議員

- 1 いじめ、不登校児童対策について
- 2 児童虐待防止対策の連携体制について

3 吉原 一治議員

- 1 漁業振興と後継者対策について

4 内田 保議員

- 1 国政・知事選挙で公職選挙法を遵守した公報配布を
- 2 防災情報の迅速な伝達のために
- 3 南知多町での虐待防止・早期発見のために
- 4 教職員の多忙化解消に向けて

5 山本 優作議員

- 1 保育士の雇用確保について

Q 災害時の特設公衆電話を、大井・師崎地区等にも増設を



内田 保議員

A 今後NTTと調整を図りながら進める

国政・知事選挙で公職選挙法を遵守した公報配布を

問 公職選挙法において国政・知事選挙で選挙公報をすべての世帯に配布しなければならぬことになっている。本町では、区を通じた配布方法で、一部の世帯に配布されていない。郵送やシ

ルバー人材センター等、他市町にならない全有権者世帯に配布できるように変えるべきと考えるがどうか。

答 中川総務部長

郵便受けなどへのポストインは有効な手段と考えるが、現在、各区に全世帯の配布を依頼している。公職選挙法違反と考えていない。今後各区分への依頼の継続も含め、配布漏れがないよう町選挙管理委員会においても検討していきたい。

防災情報の迅速な伝達のために

問 防災ラジオの価格の引き下げと無料貸し出しの枠を広げ、町民に宣伝すべきではないか。

答 中川総務部長

町広報での啓発、各地区防災訓練や産業まつり会場で防災ラジオの展示紹介をしている。災害時要援護者名簿登録者と生活保護受給者には、希望者に無償配布している。

問 災害時の特設公衆電話の設置が2次避難所だけでは少なすぎる。師崎避難所や内海防災センター、大井や師崎地区のコンビニや旅館等にも増設すべきと考えるがどうか。

答 中川総務部長

今年度新たに供用開始した師崎避難所を始めとした避難所への増設については、今後、NTTと調整を図りながら進めていく予定である。

南知多町での虐待防止・早期発見のために

問 30年度に実施した学校でのいじめアン

ケートに、家庭や、地域の子どものSOSを聴き取る項目のある学校は何かあったか。また、ない学校には指導したか。

答 山下教育部長

いじめに関するアンケートは、すべての学校で行っており、5校は自由記述欄を設け、いじめの他に悩んでいることはないかを聞いています。また、1校は家のことで悩んでいることはないかの項目がある。そのほか、すべての学校で教育相談を行い、いじめや家庭での問題の早期発見に取り組んでいる。

問 南知多町としても要保護児童対策地域協議会を開催し、組織として児童虐待の現状認識と今後の対策への共通認識を深めることが必要ではないか。

答 田中厚生部長

現在、代表者会議は開かれていないが、緊急性がある場合には、随時状況把握に努め、必要に応じて個別ケース検討会議

を開催する等、虐待防止の体制を整えている。

教職員の多忙化解消に向けて

問 教職員の多忙化解消プランに基づき、閉

校日や勤務時間外の留守電の自動音声対応の条件整備を導入すべきではないか。

答 山下教育部長

現在、教育委員会において検討中で、校長会にも投げかけていく。留守番機能付き電話は、機器更新に合わせて取り換えを行っており、今年度中にすべての学校に設置が完了する予定である。

問 残業手当が導入されない学校現場では、適正な勤務時間の割振変更簿を例として示すことはできないか。

答 山下教育部長

学校の勤務時間の割振りには、それぞれの学校の事情に応じ校長が行うこととなるので、一律に例示することは難しい。